



あと一步の向上に向けた取組

函館市立北昭和小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のために

- ①授業の質の向上
- ②家庭学習の推進
- ③放課後の補習（計算寺子屋）
- ④算数ＴＴ，少人数指導による個に応じたきめ細かい指導
- ⑤学習常規の確認・徹底
- ⑥チャレンジタイム・言葉タイムの実施
- ⑦読書活動の推進

2 取組の概要

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のために

- ①授業の質の向上…毎日の授業で「わかる・できる実感」をさせ、意欲の向上、自信をつけさせる取組
- ②家庭学習の推進…各学級で家庭学習の習慣化を目指し定着を図る。
- ③放課後の補習…月１回火曜日の放課後に「計算寺子屋」を実施。児童それぞれのニーズにあった課題設定が可能である。
- ④算数ＴＴ（３～５年），少人数指導による個に応じたきめ細かい指導…担任と連携し，Ｔ２やＴ１の役割を交代しながら、学習指導の充実に努めていく。また，少人数指導・習熟度別学習指導の充実を図る。
- ⑤学習条規の確認・徹底…学級によってバラバラな学習条規をある程度統一していく。
- ⑥チャレンジタイムの実施…計算力の向上や漢字の読み書き、ミニ作文など基礎的な力を向上させる取組。
- ⑦読書活動の推進…読書量を増やすために、週１回水曜日に読書タイムを設定し，朝の授業前の時間に全児童が読書をしている。



3 成果（○）と課題（●）

- 児童・保護者・教師それぞれが学力向上を明確に意識し始め、真剣に取り組む姿勢が見られた。
- 学習者である児童からの評価を重視すべきだった。
- 家庭学習を定着させることが難しかった。
- 計算寺子屋には、補習してほしい児童が残らないことが多かった。